

パブリックコメント実施結果

案件名	八雲町再生可能エネルギー導入促進ビジョン（素案）	提出意見に対する担当部局等の検討経過	
担当部局	商工観光労政課	担当部局検討結果（案）の作成	平成29年 2月10日～平成29年 2月10日
意見募集期間	平成29年 1月13日～平成29年 2月13日	関係部局検討結果（案）の協議	平成29年 2月17日
公表年月日	平成29年 3月 6日	※関係部局	
意見提出者	1件	町長決裁にて決定	平成29年 2月23日

No.	町民意見の内容	回答内容（八雲町の考え方等）	意見反映の状況
	<p>立派な資料ではあるが、可能性が様々あるがゆえに、しぼりこめていないのが八雲らしい。</p> <p>企業が入って、そのまま進めるのは太陽光と地熱。多くの世帯数の電気をまかなえるのは水力。町民が八雲らしいと言っているのは風力と酪農系のバイオマス。賦存量が豊富なのは木質バイオマス。地中熱と雪氷は、もしやるとしたら部分的なものになるだろう。</p> <p>方向性をどう見出すかが課題だ。何かに特化するのか、複合的にあれもこれも取り上げるのか。住民出資の仕組みで行くのか、国の補助金を引き出して進めるのは当然だとしても農林水産省、環境省、総務省など様々な補助制度があるので、良いタイミングで効率の良い補助金を受けるためにはスピード感も必要と思う。身近なところでは知内の木質バイオマス利用事例や蘭越、寿都なども参考になると思う。提示されてある資料の中では伊達市が多角的な取り組みをしているのでお手本にできるかもしれない。</p> <p>町内の資源で地域内経済循環を起し、利益が出せること、雇用を産み出すことが目的となる。JAや漁協、森林組合、町連協、各種住民団体など、目に見える形で町内のエネルギーの未来を語り合う組織が必要ではないか。それを主導するために庁内に「エネルギー課」を設けることを提案する。</p>	<p>ビジョンは、再生可能エネルギーを通して八雲町が社会に貢献できることとともに、地域づくりの視点を加え、将来の可能性を提示する形としております。</p> <p>また、ご意見のとおり八雲町には様々な資源が賦存するものと考えており、このため様々な可能性も期待できると考えております。</p> <p>このため、今後は各種団体などから一層の意見聴取に努めることとしております。</p> <p>なお、役場内の組織については、今後の動向を見据えながら検討いたします。</p>	D

●意見反映の表記

- A：意見に基づき案件に反映（修正）するもの B：意見が既に反映されているもの C：意見を案件に反映しないもの D：今後参考とするもの
E：その他（内容についての質問、感想、要望等）